

# 教育ニュース「響学 共動」 No. 7

今週の児童川柳

「かたつむり 紫陽花のうえ 雨をまつ」(6年生)

平成 22 年 6 月 21 日

広島市立吉島小学校

「いのちを大切にする子」は、本校の教育目標の一つ。栽培委員会や飼育委員会の 5・6 年の児童は毎日、樹木やプランターの植物に水を、飼育園の小動物(かわいい亀とうさぎ)に餌を与えることを欠かさない。その姿は、愛情に満ちています。

また、各学年では、栽培園で花や野菜を育てています。児童と担任が力を合わせ、花や野菜に何かを話しかけながら育てています。そんななか、ひわまり学級の栽培園では、キュウリが長さ 22 センチ、重さ 310 グラムに育ち収穫活動が行われました。「みてみてこんなに大きくなったんよ」と喜びを表す児童の笑顔は、温かい陽ざしを受け、きらきら輝いていました。

## 地域の方から学ぶ 昔の生活や地域の様子、公の心を 「ありがとうございました」

この 16 日、3 年生児童は、12 人の地域の高齢者の方と公園清掃や昔の社会生活を知る学習に取り組みました。清掃活動では、空き缶やたばこの吸い殻などを一緒に拾い、その量の多さに「ひえ～」と声をあげる児童、まだ使えそうな衣料などが捨てられていることに「なんで？」と声をあげる児童。これらの声に、「自分がつくったごみは自分の家で…。ましてや公園はみんなが使う場所じゃけんね」「ものを大事にする人になってね」などで応えられる地域の方々。昔の遊びやまちの様子、「ものはなかったんじゃけど、だれもみんな優しくかったんで」と、支え励まし合いながら暮らしていた戦時中の生活の様子など語られる高齢者の方々の話に、児童の表情は明るくなったり暗くなったりしていました。また、児童は学校生活や流行している遊びを紹介する。「うんうん、そうねそうね…」と児童の話を優しいまなざしで聴き入られる高齢者の方の姿があちこちで。その後、笑顔と語らいの交流は続きました。



翌日の児童の日記には、「おじいちゃんたちがいっぱい拾われていたので、私もがんばって拾いました。公園がきれいになってうれしかったです」「ごみをばい捨てしてはいけなくて実感しました」「今日は、おばあちゃんたちとお話しできとって楽しかったです」など活動の充実感が表現されていました。

## 「チャンジ -の世界を楽しんで 世界からいろんなことを学んで」と 読み聞かせボランティアの方による「お昼のお話し広場」がスタート

本校では毎年、地域や保護者のボランティアの方による読み聞かせ活動が行われています。「お昼のお話し広場」はその一環の活動で、この 15 日の広場には、60 人を超える児童と先生が昼休憩の時間、図書室に集まりました。

8 人のボランティアの方の巧みな語りと表情の豊かさに、じつ～と聴き入る子どもたち。場面によっては、笑いやつぶやきも起きる。絵本の世界に入り楽しさを味わう子どもたちの姿が。今回は、大型絵本「おじさんのかさ」をはじめ 4 作品が。子どもたちのこんな姿や聴き入る優しいまなざしをみると、「ありがたいこと」で、ボランティアの方々に大感謝です。今後ともよろしくお願いたします。ところで、図書室の隣の部屋の廊下掲示板には、「めざせ 100 冊 めざせ日本縦断の旅(新青森駅をスタートし南下)」読書活動啓発のお知らせが。その傍らに既にチャンジの旅を始めた本校児童の数 174 人(約 60%)の表示が。なかには、既に福島駅(読んだ冊数: 20 冊)、新庄駅(同: 30 冊)に達している児童もいます。梅雨の季節、雨の音のなか休憩時間に読書でも! 心と頭が元気にもなります。



